

三原お仕事ハンドブック2025(若年者向け企業情報冊子)

掲載企業募集のご案内

三原市では昨年に続き、若年層に対する市内企業の認知度向上及び将来的な三原での定住・就労の啓発を目的とし、お仕事ハンドブック（企業情報冊子）を制作します。掲載企業を募集しますので、ご検討をお願いいたします。

申込条件

・三原市内に本社または事業所を有する企業（法人・個人事業等）

※風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定される営業を行う事業所、日本標準産業分類に基づく政治・経済・文化団体・宗教に分類される事業所は除く。

・下記、制作要綱にご賛同及びご協力いただける企業

制作要綱

<趣旨>

主に若年層（中学生・高校生）の将来的な三原での定住、就労の啓発を目的として制作します。
若者が将来の自分を重ね合わせることができる、身近な存在を通じた企業情報の発信を行います。

<要領>

◎各企業、若手の社員様1名を人選いただきます。

・その社員様に仕事のやりがいや三原での暮らし等を取材（インタビュー）させていただき、写真とともに1企業1ページの原稿として掲載します。（取材をオンラインとさせていただく場合があります。）

・制作した冊子は、市内中学2年生、近隣高校2年生、大学等に配付予定です。

・過去に本冊子に掲載された企業様も申込可能ですが、原則人選は別の社員様でご協力をお願いします。

<掲載企業数> 50社程度

<制作期間> 令和7年6月～11月末（予定）

<掲載料> **23,000円（税込）** ※制作完了後に市から請求させていただきます。

申込期限

令和7年7月1日（火） 〆

申込方法

裏面申込書をご記入の上、メールまたはFAXにてお送りください。
Webフォームからお申込みいただけます。

Eメール: shoko@city.mihara.hiroshima.jp FAX: 0848-64-4103

裏面
申込書

三原お仕事ハンドブック2025(若年者向け企業情報冊子)

申込フォーム (三原市経済部商工振興課 宛て)

貴社名			フリガナ ご担当者氏名				
事業所所在地	〒		部署・役職				
TEL		Email (携帯不可)					
申込確認	☐ 制作要綱を確認の上、申し込みをします。(☑を記入)						
貴社事業内容							
三原市内事業 所における新規 採用実績 (各年4月1日時点)	令和5年	[高校生]	名	[大学生]	名	[その他]	名
	令和6年	[高校生]	名	[大学生]	名	[その他]	名
	令和7年	[高校生]	名	[大学生]	名	[その他]	名
来年の採用予定	令和8年	[高校生]	名	[大学生]	名	[その他]	名

申込方法

メールまたはFAXにてお送りください。
Webフォームからもお申込みいただけます。

Eメール: shoko@city.mihara.hiroshima.jp
FAX: 0848-64-4103

web申込フォーム

<https://logoform.jp/form/UQ6D/1077454>



申込期限

令和7年7月1日(火) 〆

誌面イメージ

業務管理事業 道路開通事業 サービスエリア事業

株式会社みはらカンパニー
MIHARA COMPANY

STORY 01

自分たち若者が
変えていかなければ
ならない、
これからの時代

山本 太郎 (28歳)
2015年入社

中学・高校ではバスケットボールに熱中し、大学ではバスケットを続けながら日本経済教育について学びました。学生時代の経験を通して、「人の可能性を広げられる」そんな仕事にしたいと思うようになりました。
カンパニーへの入社を決めたのは「すべては自分次第」という姿勢に共感したから、誰かに教えてもらうより自ら学ぶ、人に聞くのではなく自分で決める、そういう覚悟をもって働く人たちに囲まれて仕事をしたいと思ったんです。
「自分で限界を決めなければ、何にでもなれる」。与えられた課題や困難は、すべてがチャンスだと感じます。もっと大きなプロジェクトをまかせてもらえるよう、日々の成長を大切にしていきたいです。



休日の過ごし方



これはデザイン上の文章です。実際の文章とは異なります。

関西から中四国、九州まで、約3000kmの高速道路関連事業を担っているカンパニー。24時間365日にわたって休むことなく安全・安心、快適・便利な高速道路サービスを届けること、豊かな地域社会づくりに貢献す

5 0年、100年先を見据え、多くの課題をクリアしていく

関西から中四国、九州まで、約3000kmの高速道路関連事業を担っているカンパニー。24時間365日にわたって休むことなく安全・安心、快適・便利な高速道路サービスを届けること、豊かな地域社会づくりに貢献すること、緊急時や災害時には「命の道」としてしっかりとお役に立つこと、この3つが最大の使命。



これはデザイン上の文章です。



これはデザイン上の文章です。